事業番号	11　04　01

事業改善シート（30年度実施事業分）

□当初要求　□当初予算案　□補正予算案　■点検

事　業　名	有料道路の利用者負担軽減事業費	部局	建設部	課・室	道路建設課
		実施期間	H26 ～	E-mail	michiken@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）	
8つの重点目標	
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保

1　事業の概要

現状（予算編成時）	○三才山トンネル有料道路、新和田トンネル有料道路、平井寺トンネル有料道路、白馬長野有料道路の4区間において、通勤・通学・通院等日常的に有料道路を通行する利用者の経済的負担が大きい。	30年度決算額	46,646 千円
		職員数	1.13 人
目指す姿	日常的に有料道路を通行している利用者の経済的負担を軽減する。 （主な実施内容：　通行料金の時間帯割引を実施（対象時間：朝、夕計9時間）（対象車両：普通自動車・軽自動車））		

事業コスト

区　分（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度
予算額	前年度繰越	0	0	0
	当初予算	74,621	53,900	45,472
	補正予算	0	0	
	合計（A）	74,621	53,900	45,472
Aの財源	一般財源	74,621	53,900	45,472
	県　債			
	国庫支出金			
	その他	0	0	0
決　算　額（B）		54,968	46,646	
概算人件費	職員数（人）	1.13	1.13	1.13
	概算人件費（C）	9,155	9,286	9,286
概算事業費（B（A）+C）		64,123	55,932	54,758

指標及びその達成状況

No	成果指標	29年度	30年度 目標値	30年度 成果	30年度 達成状況
①	事業の利用台数	73万台	60万台	52万台	未達成
②	参画市町村	18市町村	18市町村	18市町村	達成

備考		成果指標設定理由	①②市町村等と協力して事業の普及を図り、県民の制度利用を促進する。

目標に対する成果の状況	事業参画市町村数は目標を達成できた。 利用台数（市町村の回数券販売枚数）は、平成30年8月に平井寺トンネルが一般道路化したことなどの影響で見込みを下回り、目標に達しなかった。（利用者の減少は、購入済みの未利用券の使用により、追加購入が少なかったためと考えれる。）

2　今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	□ 事業を実施しない　□ 事業を見直して実施　■ 事業を現行どおり実施	
	課　題	今後の方向性
	全交通量に占める時間帯割引回数券の利用者の割合は増加傾向である。今後、消費税の引上げが行われる場合、通行料金の改定（引上げ）が見込まれ、経済的負担が増加する。	日常的利用者の経済的負担を軽減するため、引き続き事業を実施する。

3　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	プロジェクトNo	細事業名	30年度　実施内容（実績）	職員数（人）	平成30年度（当初）	平成30年度（決算）	令和元年度（当初）
1		有料道路の利用者負担軽減事業費	・通行料金の時間帯割引の実施	1.13	53,900	46,646	45,472
			合計	1.13	53,900	46,646	45,472

事　業　改　善　シ　ー　ト　附　表

□当初要求　□当初予算案　□補正予算案　■点検

事業番号	事　業　名	部局	課・室
11 04 01	有料道路の利用者負担軽減事業費	建設部	道路建設課

細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度　実施内容（予定）	30年度　実施内容（実績）	30年度実施状況	29年度 当初（千円）	30年度 要求（千円）	30年度 当初（千円）	30年度 補正（千円）	30年度 決算（千円）
1	有料道路の利用者負担軽減事業費	通行料金の時間帯割引を実施（４区間）	負担金	通行料金の時間帯割引の実施	市町村と県で料金軽減分を負担し、普通車・軽自動車について通常料金から５割引となる時間帯割引を実施した。	計画通り○	74,621	60,051	53,900	0	46,646
合　計							74,621	60,051	53,900	0	46,646